

**製品名: リン酸化 p53 (Ser15) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00821**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 48 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TP53
別名	TP53; P53; Cellular tumor antigen p53; Antigen NY-CO-13; Phosphoprotein p53; Tumor suppressor p53
遺伝子 ID	7157
SwissProt ID	P04637
免疫原	抗血清は、Ser15 のリン酸化部位周辺のヒト p53 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

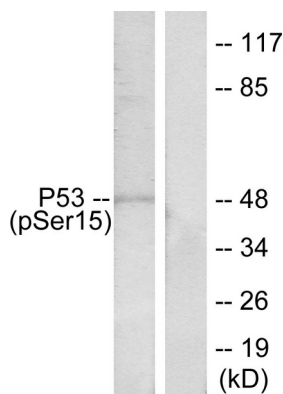
**背景**

核タンパク質である腫瘍タンパク質 p53 は、細胞周期の制御、特に G0 期から G1 期への移行において重要な役割を果たします。正常細胞では非常に低濃度で存在しますが、様々な形質転換細胞株では高発現しており、形質転換および悪性化に寄与すると考えられています。p53 は DNA 結合タンパク質であり、DNA 結合、オリゴマー形成、および転写活性化ドメインを有します。

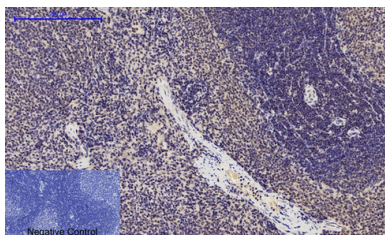
## 研究分野

細胞生物学

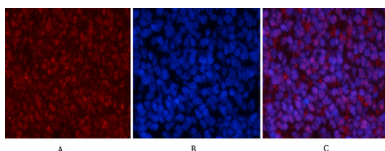
## 画像データ



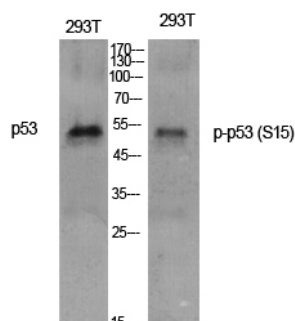
HU 溶解物で処理した HeLa 細胞中の Phospho-p53 (Ser15) を Phospho-p53 (Ser15) 抗体を使用してウエスタン プロット分析します。右側のレーンは Phospho- ペプチドでブロックされています。



リン酸化 p53 (Ser15) 抗体を使用したパラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



抗体を用いたラットの脾臓組織におけるリン酸化 p53 (Ser15) の免疫蛍光分析。



293T ライセート中の HU 処理していないリン酸化 p53 (Ser15) と HU 処理したリン酸化 p53 (Ser15) のリン酸化 p53 (Ser15) 抗体を用いたウエスタンプロット分析